

令和 6 年度 笛吹市男女共同参画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和 6 年 12 月 20 日（金） 14：00～14：40
- 2 開催場所 笛吹市役所 本館 302 会議室
- 3 出席者
（審議会委員）：今泉利恵、遠藤浩之、久保田浩人、小林宏一、佐藤愛子、
山内幸雄、横山祥子、吉岡弘子
（事務局）：市民環境部長、市民活動支援課 3 名
- 4 議事
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 市長あいさつ
 - 4 審議委員・職員紹介及び挨拶
 - 5 笛吹市男女共同参画審議会について
 - 6 会長・副会長の選任について
 - 7 議事
 - (1) 笛吹市における男女共同参画実施状況について
 - (2) 笛吹市男女共同参画推進委員会の活動状況について
 - (3) その他
 - 8 閉会
- 5 会議資料
 - ・資料 1 審議会について
 - ・資料 2 男女実施状況報告(R5 年度版)
 - ・資料 3 推進委員会活動状況(R06)
- 6 議事内容
 - (1) 笛吹市における男女共同参画推進状況について【資料 2】
事務局から「第 4 次男女共同参画計画」の概要及び「令和 4 年度 男女共同参画基本計画実施状況報告」説明
（質疑・意見）
委員
 - ・アンケート調査については計画策定時に調査をしていて、来年度計画策定時に調査するという事でよろしいか。事務局

- ・ご指摘のとおりです。

委員

- ・人権教室は年に2回開催しているが、参加人数は、学校の規模により参加人数が変わってくる。参加人数は大規模校ですか小規模校でするかによって変動するので、数値目標を200人と決めることが難しい。

委員

- ・数値目標なので、参加人数とせずに実施個所数とするのがよろしいかと思う。次回の計画策定時に見直してもらいたい。

事務局

- ・承知しました。

(2) 笛吹市男女共同参画推進委員会の活動状況について【資料3】

事務局から説明

(質疑・意見)

会長

- ・推進委員長から何かご意見ございますか。

委員

- ・コロナが落ち着き、今まで外向きの活動ができてなかったもので、今年度は活発な活動を実施し、部会単位で上がった意見はできる限り実施して積極的な交流を行うとしたのがこのような形となった。目標として改めて委員会の在り方を説明されたときに、プランに沿って実行していくPDCAサイクルを実行する形で委員会を動かすべきであった。

会長

- ・補足としてNVECについて説明をさせていただきます。

この施設は人的交流、情報交換の拠点となっている施設です。

～会の内容を説明～

- ・女性差別撤廃条約選択議定書について、現在全国に活動が広がっていること。

- ・若い人が男女共同参画の運動に関心を寄せてくれていない。

若い人を関わらせようという動きがシンポジウムに見えた。ジェンダーカフェに人が集まらないという報告もあり、多くの若い人が関心を寄せてくれていないことが読み取れた。日本全体として若い人が中心となってジェンダー平等を目指すことで、経済発展にもつながるので関わってもらいたいと思った。大きな2つの議題がこの会で提示された。

委員

・推進委員会の活動状況からは、活発な活動が分かり、委員の皆様については大変な努力をしていると思う。県でもプランを作成するが、県は直接市民に働きかける組織がなくこういった活動を計画に入れていないが、行政区に一番支援をしているのが推進委員だと思う。活動目標値に入れて評価することも必要かと思うので次回検討いただければと思う。

委員

・活動をしていて感じるのは、プランと推進委員会の結びつきが弱いと感じる。部会ごと個別にやりたいことをやっている。プランでやることを明確にし、数値を上げるプロジェクトチームのような組織作りが必要だと思う。

会長

・推進委員会はプランに基づいて推進するということ、これに関連して、市民としてこの場面ではどうすべきかが個別具体的に書いている箇所がプランにある。市民もこのプランに基づき行動していくことで、推進委員と市民の関わりがしやすいようになっている。推進委員会がプランと繋がりを強く持つことが必要なことはこういった点からも分かる。

(3) その他

事務局

部会では例えば、女性の目線を入れた避難所運営について考えることに取り組んでいる。こういった活動は、災害状況等で変わって来ることもあり、5年間の計画でKPIという形で取り入れても時代の変化で変わることもある。

まずは、基本目標や重点目標といった柱をしっかりと作るために、その作り方について考えていきたい。

6 閉会